



樹立社・新刊案内

102-0082 千代田区一番町 15-20-502
TEL 03-6261-7896 FAX 03-6261-7897

中国絵本館シリーズ⑤

『あたしは花ムーラン』

発売 2020年

10月12日!

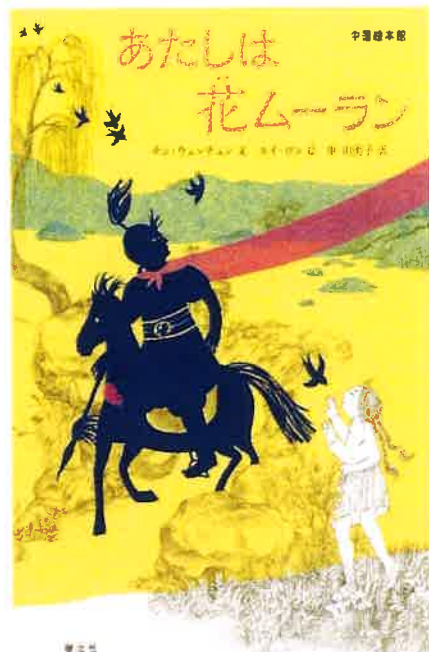
定価：本体 2,700円 + 税

対象年齢：小学校中学年から

中国絵本の「いま」をお届けするシリーズ、第5弾!

- ★中国の古謡に登場する美しい村娘・花ムーランのお話。
- ★花ムーランは、自分が女だと隠して父の代わりに出征し、大活躍します。
- ★花ムーランに憧れる現代の少女が、想像の世界に遊ぶ挿話も楽しめる、美しく詩情豊かな仕掛け絵本。

✿現在の中国について、日本の子どもたちはどんな印象を持っているでしょう。本作で描かれた昔の中国の山村で、人々が手仕事を大切に、豊かな生活を営んでいる様子は、大変愛おしく感じられます。賢く強く美しく、心優しい花ムーランの武勇伝の華やかさとともに、独特の切り紙と鉛筆で細部まで丁寧に描かれた絵をいつまでも見ていたい1冊です。



【組見本】



✿独特の切り紙と鉛筆で描いた美しい絵本!

【作家紹介】 文/チン・ウエンチュン (秦文君)

上海生まれ。小学校教師を経て編集者に。1981年に処女作を発表後ずっと書き続けている。幼年向けから『十六歳の少女』まで幅広い作品多数。70もの児童文学賞、作家賞などを受賞。多くの作品がテレビドラマや映画にもなり、子どもたちに愛されている。

絵/ユイ・ロン(郁蓉)

1998年英国のRoyal College of Artに留学。クエンティン・ブレイクに師事。代表作『雲のような八哥鳥』はBIBの第24回金のりんご賞を受賞。現在はドイツ人の夫、三人の子ども、一頭のジャーマン・スパニエルと英国ケンブリッジ近郊の村に在住。邦訳に『雲のような八哥鳥』(ワールドライブラリー)『が一こちゃん あそぼ』(徳間書店)がある。

訳/中 由美子(なか・ゆみこ)

長崎市に生まれる。縁あって中国語を学び、中国の児童文学と幸せな出会いをして現在に至る。著書に『中国の児童文学』(久山社)、訳書に『ともだちになったミーチュー』『木の耳』『たのしい森をさがして』『ゆめみるへや』『青銅とひまわり』(樹立社)、『絵本西遊記』『よあけまで』『京劇が消えた日』『火城 燃える町1938』『父さんたちが生きた日々』(童心社)、『学校がなくなった日』(素人社)ほか。

注文書



樹立社

FAX 03-6261-7897

【新刊委託】

中国絵本館シリーズ⑤

『あたしは花ムーラン』

文/ チン・ウエンチュン(秦文君)

絵/ ユイ・ロン(郁蓉)

訳/中 由美子(なか・ゆみこ)

定価：本体 2,700円 + 税

62頁 30×22cm 上製 C8797

部

ISBN978-4-901769-91-4